

草の根技術協力（草の根協力支援型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	フィリピン
2. 案件名	困難な背景を持つ保護者の包括的自立支援：パサイ市近郊における貧困家庭の社会適応改善プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	フィリピンには人口の23.7%、2600万人以上の「生活に不可欠な最低限のニーズを持続的に満たすことができない個人および家族」がいる。本事業のターゲットは、この貧困層の中でも「都市部の貧困層」に分類される「困難な背景を持つ保護者（以下MG：Marginalized Guardians）」である。こうしたMGはアルコールやドラッグ依存等の問題を持つことが多く、心理的・社会的に不安定で、仕事に就かなかったり、仕事を継続できなかつたりすることが多い。この状況は子どもの養育を困難にし、社会を不安定化させるという負のスパイラルを生み出している。そこで本事業では、MGの経済的安定を促進することを目標とし、その前提としてMGの心理的・社会的な安定の促進を図る。具体的には心理学的知見に基づいたMGの心理的・社会的自立支援と経済的自立支援を組み合わせた包括的な自立支援プログラムを開発・実践する。社会福祉開発省（DSWD）担当官によれば、こうした視点からのアプローチは乏しいとのことである。プログラムは、現地指導者によって実践される。その実践過程と研修を高度な実践を指導できるリーダー養成を図る。また、開発したプログラムは、DSWDを通じて多くのNGO等に提供する。
4. プロジェクト目標	困難な背景を持つ人々の社会適応力が改善される
5. 対象地域	マニラ首都圏パサイ市近郊
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	直接受益者：MG60人、リーダー研修参加者300人 間接受益者：プログラム参加者（MG）の子どもたち240人、支援児童生徒660人、貧困家庭保護者約20,000人、提供プログラムを介した受益者数千人
7. 生み出すべきアウト プット及び活動	<p><アウトプット></p> <p>1: 支援対象MGの情緒的安定がすすむことにより、貧困からの脱却の機会が増え、建設的な家庭が生まれる基礎ができる</p> <p>2: プログラムファシリテーター（SPECS、HOLPFI、子ども支援NGOスタッフ、ライセンス・ソーシャルワーカー、地域福祉担当スタッフ）の子ども支援能力が向上する</p> <p>3: プログラム運営マニュアル簡易装丁版（日本語、英語、タガログ語）を作成する</p> <p>a) 「包括的子ども支援プログラム」 b) 「包括的社会適応プログラム」</p> <p><活動></p> <p>1-1 Pプログラム：「MGの心理、社会状況改善プログラム」の実施</p> <p>1-2 Aプログラム：「MGの経済的状況改善プログラム」の実施</p> <p>2-1 a) パートナー団体（SPECS、HOLPFI）スタッフトレーニング</p> <p>b) NGO、CSOs（Civil Society Organizations）スタッフ、ソーシャルワーカー（DSWDに登録されている）を対象とした、心理学に基づいた教育プログラムトレーニング（内訳：各団体の代表者2名以上、ライセンス・ソーシャルワーカー、教育省、福祉開発省担当者、バランガイ</p> <p>3-1 支援事業者向け簡易版マニュアル作成</p> <p>地域ベースでMGの家庭を支援している団体のスタッフ、ソーシャルワーカー用</p>
8. 実施期間	（西暦）2024年3月～2026年2月（2年0ヵ月）
9. 事業費概算額	9,981千円
10. 相手国側実施機関 (カウンターパート)	カウンターパート：SPECS（社会福祉開発省（DSWD）認定NGO） 協力団体：HOLPFI（社会福祉開発省（DSWD）認定NGO）
II. 団体の概要	
1. 実施団体／指定団体	公益社団法人学校教育開発研究所
2. 主な活動内容	「子どもと学校への支援、教育に携わる人材育成を行い、我が国をはじめ世界各国の教育の向上に寄与すること（定款3条）」を目的として2015年に設立、2016年からは公益社団法人として活動をしている。そのミッションは国内外を問わず、「教育を通じて子供たちに明るい未来を届ける」ことである。